

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤JV

避難訓練を実施しました

7月11日(水)に大津波を想定した避難訓練を実施しました。緊急避難場所は山下第二小学校の2階としています。訓練実施後に、参加者にアンケート調査を行い、そこで挙げられた問題点などを改善し、対策を万全に行きます。



避難訓練状況

山元JVのダンプにマスクを設置しました

JVで使用しているダンプにマスクを設置しました。このマスクを設置したダンプは、安全運転で運搬に当たります。



山元JVの特製ダンプマスク

Q: 焼却灰はどこに処分しているのですか?

A: 焼却灰は、今のところまだ処分先が決まっていません。場内および隣接町有地に TENT を設置し仮置しています。燃え殻については、不溶化処理し有害物が溶出しないようにして復興資材として有効利用し、最終処分量を減らします。ばいじんについては最終処分します。有効利用する場合、放射能濃度により盛土のコア部に限定して使用するなど放射線の影響がないようにする予定です。

山元JV
神立元方安全
衛生管理者より
ひとこと



こんにちは！神様が立つと書いて「かんだつ」と読みます。千葉県出身ですが、宮城に来ては2年、この町がすっかり気に入って、身も心も山元町に捧げる覚悟です。みなさんと共に、一日も早い復興へ、がんばりましょう！！

処分量(7月20日現在)

	設計処理量(t)	累計処理量(t)	進捗率(%)	備考	
焼却量	80,000	17,429	22%	燃え殻: 7,099t、ばいじん: 488t	
搬入量	木くず	201,000	21,155	11%	
	混合ごみ	212,000	4,061	2%	
	コンクリートくず	85,000	36,464	43%	
	津波堆積物	598,600	46,262	8%	かさ比重は1.46t/m ³ とした
搬出量	コンクリート再生骨材	81,000	27,864	34%	
	津波堆積物処理土砂	598,600	40,016	7%	新浜の仮置場への搬出量

8月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【破砕選別工】					
災害廃棄物	運搬、破砕				
津波堆積物	運搬、選別				
焼却灰固体化不溶化処理	固化・不溶化				
【搬出工】					
津波堆積物土砂	新浜仮置場へ搬出				
コンクリートがら	新浜仮置場へ搬出				
【焼却工】					
キルン炉・ストーカ炉	焼却				
バイオマス発電設備	発電				

焼却灰の放射能濃度		
主灰	740Bq/kg	測定日
飛灰	1,600Bq/kg	7月10日
二次仮置場の空間線量(μSv/h)		
7月20日測定		
事務所前	0.032	
焼却炉飛灰棟	0.036	
木くず	0.047	
コンクリートがら	0.055	
津波堆積物	0.307	
金属くず	0.034	
主灰保管テント内	0.053	
飛灰保管テント内	0.239	
※地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています		

お問い合わせは
0223-37-7451
まで

発行: 災害廃棄物処理業務(巨理名取ブロック(山元処理区))
フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体
〒989-2202 宮城県巨理郡山元町高瀬宇浜砂1-4
電話: 0223-37-7451